



卓球みなと

第4号
令和7年(2025年)
3月(早春号)
港区卓球連盟広報

港区卓球選手権

尾本(好卓会) 男子三種目を制覇



三冠を達成した
尾本選手(好卓会)

港区卓球選手権は1月26日(日)スポーツセンターにおいて男女シングルス及びダブルス5種目の頂点を目指し熱戦が展開された。

本大会において尾本選手(好卓会)が男子3種目を制覇し見事三冠王を達成しました。シングルスでは、廣瀬選手(EACONS)の力強いボールを円熟したプレーでかわし、3対0のストレートで勝利。

男子ダブルスは、同じ好卓会の竹田選手と組み、変化にとんだコンビネーションで浅井(アクティブ・徳島選手)のろまっクラブ組を3対1で撃破し、混合ダブルスは長谷川選手(BEANS)と組んで昨年3位の意地にかけて優勝を自覚し、ドライブマンとカットマンの戦型違いをうまく利用し、竹田選手(好卓会)谷口選手(東友会)組を破り、三種目制覇となりました。

女子一般シングルスでは永嶋選手高輪フレンズが多くの若手選手を抑え見事栄冠を獲得。女子ダブルスでは、鈴木選手・谷口選手組(東友会)が岡本選手・長谷川選手組(BEANS)のカットと堅い守りを打ち抜き3対1で勝利をつかんだ。

優勝者一覧

男子シングルス	尾本(好卓会)
女子シングルス	永嶋(高輪フレンズ)
男子ダブルス	尾本(好卓会) 竹田(好卓会)
女子ダブルス	鈴木(東友会) 谷口(東友会)
混合ダブルス	尾本(好卓会) 長谷川(BEANS)

手組(東友会)が岡本選手・長谷川選手組(BEANS)のカットと堅い守りを打ち抜き3対1で勝利をつかんだ。

なお、この種目では津田沙矢香選手と沙桜里選手(古河産業)の親子ペアが眞我部選手・稲葉選手(Lin☆Jin)の若手ペアに勝利し、堂々3位に入賞しました。津田沙桜里選手は小学2年生で連盟の入賞記録では最年少となりました。



混合ダブルス優勝
尾本選手・長谷川選手(BEANS)



女子シングルス優勝
永嶋選手(高輪フレンズ)



男子ダブルス優勝
尾本選手・竹田選手(好卓会)



女子ダブルス優勝
鈴木選手・谷口選手(東友会)

また出場したい

津田沙桜里(古河産業)

今日はお母さんと卓球ができて楽しかったです。4歳ころから卓球を始め最初は両親に卓球を教えてもらっていましたが、今はクラブチーム

に入れてもらい練習しています。このような大会に参加させてもらい楽しくそしてもっと強くなり、またこの大会に出場したいです。



新春に躍動する小中高生

令和6年度ジュニア卓球大会

港区体育協会及び東京都スポーツ協会主催の小・中・高校生を対象とした「ジュニア育成地域推進事業」である令和6年度ジュニア卓球大会が1月12日港区卓球連盟が主管し、スポーツセンターで開催さ

れた。当日は、港区を始め近隣地域の小・中・高校生を集め、日頃のクラブ活動の成果を競った。会場には多くの指導者や保護者等で盛り上がり、熱気にあふれた一日であった。結果は、高校男子は東海大浦安が

上位を独占、高校女子は小松川と東海大高輪・浦安、女子中学以下は瑞江第三中が3名が入賞を果たしたが、男子中学以下は全て学校が異なる選手が上位を占めた。



若さ一杯！いい笑顔だね～



男子高校生入賞者一同



女子高校生入賞者一同



女子中学生以下入賞者一同



男子中学生以下入賞者一同

令和6年度後期港区クラス別男子リーグ戦

1部 麻布がまクラブ(A)初優勝

男子後期リーグ戦は2月9日港区スポーツセンターにおいて、69チームが参集し熱気溢れる戦いが繰り広げられた。

多くの登録チームが参加した本リーグは、1部から4部、5部が3ブロック、6部が6ブロックの6クラス13ブロックに編成され、棄権チームもなく盛況裡に終了した。試合結果は、



嬉しい初優勝：麻布がまクラブの面々

前期リーグで2部優勝を果たした麻布がまクラブ(A)が1部初昇格にもかかわらず若手の穴のないオーダーで1部常連チームを撃破し、見事優勝を飾った。

2部から4部は6チーム編成であったが、2部はBEANS(A)が5戦全勝、3部は2シズンリーグ戦を欠場していたオーシャンCが実力を発揮し5戦全勝で優勝を飾った。4部はのろまっこクラブが長谷工(A)と4勝1敗で並んだが、相対でのろまっこクラブが辛勝。5〜6部は武士道組の3チームが5部

今年度の前期リーグ戦で2部で優勝することができ、後期は念願の1部で戦うことができました。これも若手選手の活躍と頑張りがあっての一言に尽きます。

それともまさか本大会で1部優勝という素晴らしい成績は、言葉ではいいあらわせないほど嬉しいです。頑張ります。



麻布がまクラブ
山本純ノ介 監督

張って頂いた選手、応援して頂いた皆様に感謝しつつ、次期リーグ戦にも連覇を目指していきたいと思えます。

(A)、5部(C)、6部(F)の各ブロックで全て優勝をさらう活躍が特筆される。次回リーグ戦の各チームの奮闘が大いに期待される本大会である。

令和6年度男子後期リーグ戦優勝チーム

クラス	優勝チーム
1部	麻布がまクラブ
2部	BEANS(A)
3部	オーシャンクラブC
4部	のろまっこクラブ
5部A	武士道組(A)
5部B	浅草オヤジ卓球サロン
5部C	武士道組(B)
6部A	港区杉卓会(B)
6部B	あすなろ(B)
6部C	Accenture(A)
6部D	NTT(C)
6部E	テクマトリックス(C)
6部F	武士道組(C)



武士道組一同

お見事！
3チーム全て優勝

オール世代がオレシンジボールを追う

令和6年度港区ラージボールオープン卓球大会



混合W優勝 庄下・若杉組



女子59歳以下S入賞の奥山・若杉・木村の各選手

令和6年度のラージボールオープンが関東近辺から二百名を超える選手が参加し、2月23日港区スポーツセンターで開催された。午前は混合ダブルスが5種目のカテゴリーに分かれ熱戦が展開された。

119歳以下では28組の参加があり素晴らしいラリーの応酬がコートで見られたが若い若杉・若杉組が優勝を飾った。また、混合とはいえ、女性だけでダブルスを組んだ奥山・木村組が見事準優勝に輝いた。

男女シングルスは10種目に分かれそれぞれ頂点を目指しましたが、他の大会で常に上位を占めている選手が順当に優勝を飾りました。決勝トーナメントの各試合は長いラリーが続き、1ポイントを獲得するため、皆さん苦労していたようです。観る側には大きな感動を与える場面も多く見られ、ラジの素晴らしいさを再認識しました。結果は下表のとおり。

	種目	参加数	優勝者
男子シングルス	59歳以下	65	石田(Team JOOLA)
	60歳以上	19	大津(常北クラブ)
	70歳以上	12	木村(チーム桂川)
	75歳以上	10	山下(西麻布クラブ)
	80歳以上	10	新井(植水クラブ)
女子シングルス	59歳以下	28	奥山(ニツタサランド)
	60歳以上	16	脇山(NTC)
	70歳以上	10	久我(キャッツ)
	75歳以上	5	北川(たんぼぼ)
	80歳以上	6	伊藤(オリオンクラブ)
混合ダブルス	119歳以下	28	庄下・若杉 (TEAM JOOLA)
	120歳以上	13	大津・山本 (常北クラブ)
	140歳以上	9	宮脇・久我 (キャッツ)
	150歳以上	11	大泉・三ツ本 (九十九会)
	160歳以上	6	大沼(小金井卓連) 高松(ウィング)



男子59歳以下優勝 石田選手

男子六十歳以上シングルス入賞者



女子1部「わくわく」首位奪還

令和6年度後期女子クラス別リーグ戦

令和6年度後期女子クラス別リーグ戦は3月9日、港区スポーツセンターで開催された。

参加チームは33チームと、女子登録チームののほんどが参加し、熱戦が展開された。

1部は、前期2位の「さつき」が4戦全勝で1部首位

に振り返った。カット、オーランドの選手がすれぞれの持ち味を出し、全員で優勝を勝ち取った。

2部は、令和6年度前期リーグ戦に出場してれば1部昇格であったが、欠場したため今回も2部編成となったBEANS(A)が、若手選手を揃え5戦全

勝で優勝を飾り、来期1部昇格を果たした。
女子後期クラス別リーグ

戦の各クラスの成績表は下記の通り。



1部 優勝 さつき



2部 優勝 BEANS(A)



4部 優勝 芝浦SG



3部 優勝 卓愛会A



5部B 優勝 レイヴ(B)



5部A 優勝 プルメリア

令和6年度女子後期リーグ戦成績表

クラス	優勝	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
1部	さつき	あじさいパールA	東友会	Jiva☆Jiba	レイヴ(A)	
2部	BEANS(A)	テクマトリックス	オーシャンクラブ	青天クラブ	HAPPY	西麻布クラブ
3部	卓愛会A	BEANS(B)	狸穴クラブ	あじさい比-	HELMi	
4部	芝浦SG	あじさいパールB	STC(A)	好卓会	はぴぽん♪	さつき会(A)
5部A	プルメリア	さつき会(B)	ラブオール(A)	東戸塚CC	マツ1卓球クラブ	あっぷる
5部B	レイヴ(B)	ラブオール(B)	STC(B)	卓愛会B	さつき会(C)	

令和6年度定期総会終わる

事業計画・予算等全て満場一致で可決

令和6年度定期総会は、3月10日センター会議室において開催された。出席代議員25名。委任状48で総会は成立し、事業報告、収支決算報告等が執行部から行われ、また令和7年度の事業計画、予算が提案された。

され全会一致で承認された。その後代議員の皆さんから自由討議ということで、日頃連盟の活動に對し感じていること、提案したいこと等活発な意見交換が行われた。

東京選手権出場奮闘記

港区杉卓会 芝崎 賢次



きました。

港区からご推薦頂き第77回東京選手権に出場しました。予選を勝ち抜いた各県代表者によるあこがれの大会、初出場の私は「震えて卓球出来なかったらどうしよう、港区の恥になるようなゲームは許されない」とても不安でした。試合前の練習どうしようと思ひ、予選会を勝抜き見事東京代表に選出された渡辺敬生さんに相談すると気持ち良く引受けてくれ大分落着

岡本昌治さんから「アドバイザークけるかは自由、ワッペンが配布される、申請不要」と教えてもらい大会近く、安本隆さんと西宮澄子さんから「選手証は連盟に届いている、忘れないように」、鶴岡功さんから「応援に行く、練習は出来るので誰か連れて行け」、植草貴弘くんは対戦相手の動画を探してくれ、木村清二さんは審判目線でアドバイスと模擬試合。審判になり「ユニホーム、ラケット確認」「サービス出す前にいったん静止」お相手してくれた三上晃弘さんも「タイムアウト」などと調子を合わせてくれて本番が待ち遠しくなりました。

当日は曇り空、午後は雪模様の寒い朝でしたが館内は過ごしやすく調整されていました。



ミズノスポーツメントール賞受賞決定

理事長 福島 友子



えました。

この度は大変立派な賞を頂くに至り、地元でささえて下さった港区卓球連盟の皆様心から感謝を申し上げます。

ーミズノスポーツメントール賞とはー

(公財)ミズノスポーツ振興財団では、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会と共催で制定したもので、この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的としたもので、2024年度で35回目となります。

当連盟の理事を仰せつかり早二十年が経過しました。

新設のジュニア大会のため中体連や高体連の試合会場に足を運び、在港区の中高の先生方を探し大会要領を渡したり、学校に届けたり奔走していた頃が懐かしく思い出されます。

東京都スポーツ協会のジュニア育成事業にも港区ではいち早く手を挙げ、13年目を迎

運営委員 鈴木平一氏 逝く



平成18年度から令和元年度まで当連盟の理事を12年間、それ以降は運営委員として5年間、長年にわたりご協力頂いた鈴木平一さんが2月25日ご逝去されました。

鈴木さんは港区卓球実技指導員としても、卓球教室等で活躍され、温厚な指導・アドバイスには多くの方々から親しまれておりました。ここに哀悼の意を捧げ、安らかにご永眠されますよう心よりお祈り申し上げます。

長年有難うございました。 合掌